



2020年7月14日

各位

会社名株式会社 ロコンド
代表社名 代表取締役社長 田中 裕輔
(コード番号：3558 東証マザーズ)
問合せ先 管理本部ディレクター 田村 淳
(TEL：03-5465-8022)

通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年4月14日付け「2020年2月期決算短信」にて未定としておりました2021年2月期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2021年2月期の連結業績予想数値（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	—	—	—	—
今回修正予想（B）	10,000	1,500	1,500	1,200
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2020年2月期）	8,576	△83	△77	△256

2. 連結業績予想公表の理由

当社は、EC モール事業の受託型は販売された商品の手数料、買取型は商品の販売金額を、プラットフォーム事業はサービス提供に係る手数料を売上高としております。2020年2月期決算短信の公表時において新型コロナウイルス感染症による靴需要の減少および検討中であった株式会社Fashionwalker（以下、「ファッションウォーカー」といいます。）の株式取得による通期業績への影響を合理的に算定することが困難であったことから、連結業績予想を未定としておりましたが、5月、6月の商品取扱高の推移に回復基調が見られたこと、及びファッションウォーカーに対する詳細な財務調査の実施により通期業績への影響を合理的に見積もることが可能となったことから、この度これらの見積りの確度が高まったと判断し、公表するものであります。

2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の商品取扱高につきましては、ECモール事業においてはファッションウォーカーの統合効果及びD2Cビジネスへの取り組みにより16,500百万円、プラットフォーム事業においては、倉庫拡張に伴うBOEM、e-3PLのサービス強化等により2,900百万円、その他の事業については百貨店店舗を閉鎖したことから600百万円を見込んでおります。また、売上高は前期の8,576百万円に対して1,424百万円増（前年比16.6%増）の10,000百万円（内訳はECモール事業が8,600百万円、プラットフォーム事業が800百万円、その他事業が600百万円）を見込んでおります。一方、販売費および一般管理費については倉庫移転に伴う物流家賃負担の増加はあるものの、人件費は当第1四半期の水準で推移し、広告宣伝等のプロモーション費用も概ね当第1四半期の水準で推移すると見込んでおります。この結果、営業利益は前期比1,583百万円増の1,500百万円、経常利益は1,577百万円増の1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,456百万円増の1,200百万円を見込んでおります。

（参考）

	商品取扱高 （返品後）	売上高
	百万円	百万円
通期連結業績予想	20,000	10,000
前期実績	18,251	8,576
増減率	+9.6%	+16.6%

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上